

2018年3月2日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

「平成29年度東京都がん患者の治療と仕事の両立への
優良な取組を行う企業表彰」で「奨励賞」を受賞

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山内 一洋、東京都千代田区)は、東京都が実施する平成29年度「がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う企業表彰」において「奨励賞」を受賞しました。

本表彰は、東京都がん対策推進計画の一環として平成26年度から行われており、がん罹患した従業員が、治療と仕事の両立が可能となる優良な取組を行っている企業を表彰するとともに、その取組を広く周知することで企業におけるがんをはじめとした傷病を抱える従業員に対する治療と仕事の両立を推進することを目的としています。

ジブラルタ生命は、社内に人材サポート部門「ジェネラル・サービスチーム」を設置し、休職時の人的支援を実施するとともに、長期休業者が復職時に職務負担を軽減しながら勤務することを可能にしている点や、就業規則が異なる事務職と営業職それぞれに対応する休職時のマニュアルを作成し、より利用しやすい制度を構築している点が評価され、今回の受賞となりました。

なお、今年度は、本社管理職向けに実施していた「がん治療と仕事の両立支援セミナー」の受講対象を拡大して実施、eラーニングや両立支援ガイドブック(仮題)の発行を通じて両立支援とがんの早期発見の必要性を社員に周知するとともに、相談窓口の設置等を行う予定です。

当社は「ダイバーシティ&インクルージョン」(※1)を重要なビジネス戦略の一つと位置付けており、今後がん患者を含めた多様な社員がお互いに尊重し協働する職場環境を目指し、取り組んでまいります。



(※1)「ダイバーシティ&インクルージョン」とは、「社員一人ひとりのさまざまな違い(性別、家族、人種、国籍、障がい、宗教、言語、スキル、経験、ライフスタイル、性的指向/性自認、家族状況など)を受け入れ、それぞれを価値として活かすことで企業の競争力を高めること」であり、がんと仕事の両立もそのひとつと考えています。